

子どものネット被害を防ぐために！



帯広市ネット非行対策講演会を令和元年11月20日(水)、帯広市生徒指導連絡協議会との共催のもと帯広市役所10階会議室で、市内の教職員を対象に開催しました。

はじめに帯広警察署生活安全課長・柘津友毅氏が子どもたちを取り巻くインターネットの利用状況について、小中生の利用が大幅に増加していること、また、ネットによる性的被害の現状では、道内でH29年は104件、H30年は98件の被害があり、増加傾向にあることを話されました。さらに帯広警察署管内においてSNSを通して起こった実例を提示し、身近なところにも被害があることを説明されました。柘津氏は対策として、

- ・SNSに個人情報のをせない。
 - ・安易にダイレクトメールに返信しない。
 - ・ネットで知り合った人に実際に会わない。
 - ・スマホのフィルタリングの利用を進める。
- ことを強調されていました。

次に株式会社メルカリ会長室政策企画・齊藤良和氏がフリマアプリの仕組みやフリマ運営会社ではどのような取り組みを行っているかを説明されました。



中では、近年は若年層の利用も増加しており、より安心・安全に取引ができるように利用規約や出品禁止物などガイドラインの策定に力を入れていることを話されました。

参加者からは「メルカリには、利用者間で独自のルールを作ることがあるそうだが、子どもには理解することが難しいのではないか」との質問があり、齊藤氏は「この件については、社内でもどう扱うか議論している。整理した段階で利用者の皆様に発信していきたい。」と回答されました。他にも質問があり、ネット取引でのトラブル防止について関心の高さがうかがわれました。

声かけ指導の状況

～高校生へのスマホ片手走行指導が大幅に増加しました！～
 (令和2年1月末現在)

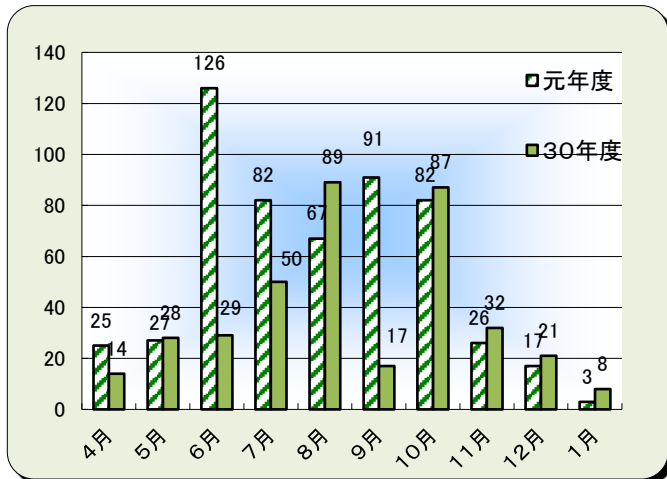
センターでは、巡回指導協力員とともに、児童生徒の見守りを行っています。今年度の街頭指導は、中心街92回、郊外242回、休日・地域夜間巡回等42回、延べ376回実施しました。

声かけ数の内訳は、小学生92人、中学生183人、高校生267人、その他4人の計546人となっています。

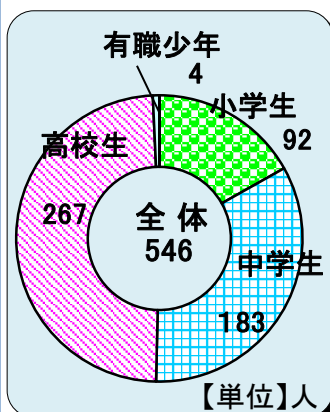
今年度は、昨年度と比較し6月と9月に声かけ指導が大幅に増加しました。これは小中学生ではゲームセンター等利用の校則周知、高校生では自転車の乗り方への指導が大半です。特に自転車では「イヤホン使用走行」や「スマホを見ながらの片手走行」など危険な行為も多く見られます。今後も継続して指導を強化してまいります。

声かけ指導数

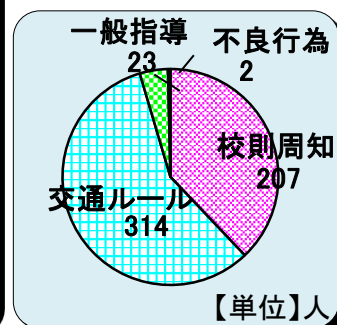
【単位】人



学職別指導数



指導内容



フィルタリングを設定しましょう！

※フィルタリングは、有害なサイトへのアクセスを制限するサービスです。



【参照：北海道青少年健全育成推進本部より】

インターネット上には、**犯罪や薬物に誘う内容や著しく残虐、わいせつな内容の有害情報が氾濫**しています。子どもにスマートフォンを持たせるときは、**フィルタリングを設定することが保護者の責務**です。お様が危険な目に遭うリスクを減らしましょう。

スマホのフィルタリング ～ゲーム機や音楽プレイヤー、学習用タブレットにも～

①携帯電話会社が提供する回線(電波)のフィルタリング
3Gや4G等、携帯電話会社の回線(電波)でアクセスする際に有効です。

②無線LAN(Wi-Fi)に対するフィルタリング
スマホ本体に導入、設定して使うフィルタリングWi-Fi等、携帯電話会社以外の回線(電波)でアクセスする際にも有効なので安心です。

③アプリのフィルタリング
アプリの利用が不安な年齢の子供向けのフィルタリング。インストール制限、起動制限、時間制限等ができます。

フィルタリングの設定方法

設定方法は、携帯電話会社や機種により対応が異なりますので、**詳細な設定方法は販売店にご相談下さい**。安心ネットづくり促進協議会ホームページ「青少年のスマホ利用のリスクと対策」でも紹介しています。



安心ネットづくり促進協議会
<http://sp.good-net.jp/>

子どもがコミュニティサイトなどによる犯罪から自分を守るためのルール

書き込まない!

インターネットに出会いを求める書き込みをしない!

直接会わない!

インターネット上で知り合った相手とは直接会わない!

掲載しない!

インターネットに個人情報・写真の掲載はしない!

お貸しします
～地域の催し等で、
お使いいただけます～

インターネットトラブル

誘惑・詐欺・犯罪サイト

詳細は以下の図表を参照してください。インターネット利用の危険性を示すイラストが複数掲載されています。

なぜ、薬物依存になるの?

今から逃げ、幸福感を味わおう...
大人になつた気がする...
周りうまくいかない...
問題から逃避するため...
親や学校に反抗する...
リラックス...

今のやらない気持ち、薬物を利用することでその時は幸福感を感じるかもしれませんが、しかし、薬物が切れると、その気分は以前よりもっと落ち込んでしまいます。それが、薬物依存につながるきっかけです。もし、あなたの友だちがドラッグ屋まで行くかもしれないという人がいたら、学校の教員やスクールカウンセラー、かかりつけのお医者さんなど、信頼できる大人にそのことを伝え、協力してもらってください。「友だちを密着できない」と考えるのは間違っています。あなたの行動が、友だちをドラッグから救出するスタートなのです。

薬物依存の恐ろしさ

パネルサイズ
縦103cm × 横73cm

詳しくは、帯広市青少年課までお問い合わせください。

* 令和2年4月1日より課名が帯広市教育委員会学校地域連携課に変わります。なお、電話番号については変更ありません。